

■ 日吉津村長コメント

この度、日吉津村は「全国健康保険協会鳥取支部(協会けんぽ)」と村民の健康づくりに関する事業を連携して実施するため、「日吉津村の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結しました。

本村は糖尿病や脂質異常症、高血圧症などで治療中の方が多くみられ、入院医療費においてもそれらが上位を占めるなど、生活習慣病対策の強化が必要な現状にあります。村民の健康意識を高めるための啓発やがん検診、特定健診などの事業を実施してまいりましたが、特に若い世代の受診率向上が重要な課題となっております。

この度の協定締結により協会けんぽと日吉津村が相互に連携することで、協会けんぽ加入者と国民健康保険・後期高齢者医療加入者合わせて約7割の村民に健康づくりの取り組みを実施することができるようになります。

具体的には、働く世代を含めた村民の医療費や健診結果のデータ分析により、村全体の健康課題を明らかにすることで、より重点的な対策を検討・実施することが可能となります。また、特定健診やがん検診などの周知啓発を共同で実施し、特に働き盛り世代の健康意識の向上や受診率向上を図ります。これらの取り組みが、将来的には医療費の削減や村民の健康寿命の延伸につながると期待しております。

今後、協会けんぽとの連携により、健康づくり事業を充実させ、一人ひとりが輝き誰もが健康でいきいきと暮らす村づくりをより一層推進してまいります。



日吉津村長
石 操

